

第3次 大仙市スポーツ推進計画

2019年度～2023年度

一生 スポーツ 一生 健康



2019年3月



大仙市教育委員会

「スポーツは、世界共通の人類の文化である」

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」

－ スポーツ基本法（平成23年法律第78条）前文より抜粋 －

目 次

第1章 第3次大仙市スポーツ推進計画策定にあたって…………… 1

- 1 策定の趣旨
- 2 計画の位置付け
- 3 計画の期間
- 4 大仙市の目指す姿と計画の基本的な方向

第2章 基本計画…………… 4

- 1 ライフステージに応じたスポーツ活動と健康づくりの推進
 - (1) 子育て世代・働く世代における気軽に取り組めるスポーツ活動の促進
 - (2) 高齢者における生きがいとしてのスポーツ活動の充実
 - (3) 成人の日常的なスポーツを通じた健康づくり
- 2 子どものスポーツ機会の充実と人材の育成
 - (1) 学校・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブとの連携強化と指導者の育成確保
 - (2) 子どもの運動習慣の確立
 - (3) スポーツ少年団等への支援
- 3 競技スポーツの振興
 - (1) 競技スポーツへの関心の向上
 - (2) スポーツ関係団体への活動支援
- 4 スポーツによる地域の活性化と交流人口の拡大
 - (1) 500歳野球大会による地域で支えるスポーツと交流活動の推進
 - (2) 大仙市の特性を活かしたスポーツによる地域づくり
 - (3) スポーツを通じた大仙市の魅力発信
- 5 地域のスポーツ活動の充実と環境の整備
 - (1) 総合型地域スポーツクラブの育成支援と関係機関との連携
 - (2) スポーツ施設の充実と利用しやすい施設の環境整備

第3章 計画の推進に向けて…………… 13

- 1 数値目標
- 2 計画の推進
- 3 計画の評価及び見直し

資料編…………… 15

第1章 第3次大仙市スポーツ推進計画策定にあたって

1 策定の趣旨

これまで大仙市では、市民が生涯を通じて個々のライフスタイルに応じて、気軽にスポーツを親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、平成21年4月に「大仙市スポーツ振興計画」を策定しました。その後スポーツを取り巻く環境の変化に合わせ、平成26年4月には「第2次大仙市スポーツ推進計画」を策定し、「子どもを取り巻くスポーツ環境の充実」、「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」、「競技スポーツの振興」、「スポーツ環境の整備」、「スポーツによる地域の活性化」の5つの大きな柱により様々な施策を展開してきました。

スポーツ基本法において、スポーツは「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養のために個人又は集団でおこなわれる運動競技その他の身体活動」としており、スポーツの楽しさ、喜びこそがスポーツの価値の中核であり、全ての市民がスポーツに参画する機会を確保することで、スポーツの価値を享受できることにつながります。

今後の本市のスポーツ推進にあたっては、人口減少、少子高齢化の進行が顕著となる中、市民の誰もが・いつでも・どこでも・いつまでもスポーツに参画し、スポーツの価値を享受できるように、地域の活性化や関係機関・団体が一体となった取り組みが求められています。このような状況を踏まえ、本市が目指すスポーツ施策の方向性を示す「第3次大仙市スポーツ推進計画」を策定するものです。

【大仙市の現状】

大仙市の人口は年々減少しており、合併時の平成17年3月から平成30年12月までで、人口が約14,000人減少しています。自然動態においては、出生人数よりも死亡人数が上回るほか、社会動態においても、転入人数よりも転出人数が上回っており、この2つの要因によって、毎年1,000人程度、人口が減少している状況が続いています。また、本市の人口構造は、全人口における65歳以上の高齢者の割合が非常に高く、0～14歳までの年少者の割合が非常に少ないというまさに少子高齢社会の様相を呈しています。

そうした状況の中で、地域資源を活かした独自性のある魅力あふれる産業の推進、出会い・結婚・子育ての積極的な支援、本市への移住・定住の促進や市外・県外の人材活用の推進を積極的に実施していくことで、人口減少のスピードを緩和させ、人口構造の改善を図り、将来にわたる人口の定着化を目指しています。



ボールゲームフェスタ in 大仙



秋田県女性スポーツ推進委員
交流のつどい

2 計画の位置付け

(1) 法的な位置付け

スポーツ基本法第10条の「地方スポーツ推進計画」と位置付けます。

(2) 国の計画との関係

国の「第2期スポーツ基本計画（平成29年3月24日 文部科学省策定）」を踏まえた、地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画とします。

(3) 大仙市総合計画との関係

大仙市では、第2次総合計画（平成28年度～平成37年度）における将来都市像『人が活き人が集う夢のある田園交流都市』を実現するため、基本構想の5つの施策のひとつに「みんなの元気を応援します！」を挙げ、スポーツ分野においては「スポーツの推進」として、スポーツ機会の拡大と環境の整備を掲げています。

この計画は、本市のスポーツ分野の施策をより具体化し、地域の実情にあったスポーツ推進に関する計画として位置付けます。

3 計画の期間

計画の期間は2019年度から2023年度までの5年間とします。

なお、本計画に基づく施策の実施に際しては、国・県の動向や社会情勢の変化に対応するため、必要に応じて見直しをおこないます。



全県500歳野球大会開会式

4 大仙市の目指す姿と計画の基本的な方向

基本理念

一生 スポーツ 一生 健康

市民一人ひとりがライフスタイルに応じてスポーツに親しみ、健康で生き生きとした生活を送ることができる豊かな生涯スポーツ社会の実現

市民が生涯にわたり誰もが日常的にスポーツに親しめる社会の実現

スポーツを活用した地域づくりと交流による市民の一体感の醸成と活力ある地域社会の実現

競技団体への活動支援による競技力の向上

第3次大仙市スポーツ推進計画【2019-2023】

【基本目標】

1 ライフステージに応じたスポーツ活動と健康づくりの推進

2 子どものスポーツ機会の充実と人材の育成

3 競技スポーツの振興

4 スポーツによる地域の活性化と交流人口の拡大

5 地域のスポーツ活動の充実と環境の整備

【基本施策】

(1) 子育て世代・働く世代における気軽に取り組めるスポーツ活動の促進
(2) 高齢者における生きがいとしてのスポーツ活動の充実
(3) 成人の日常的なスポーツを通じた健康づくり

(1) 学校・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブとの連携強化と指導者の育成確保
(2) 子どもの運動習慣の確立
(3) スポーツ少年団等への支援

(1) 競技スポーツへの関心の向上
(2) スポーツ関係団体への活動支援

(1) 500歳野球大会による地域で支えるスポーツと交流活動の推進
(2) 大仙市の特性を活かしたスポーツによる地域づくり
(3) スポーツを通じた大仙市の魅力発信

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成支援と関係機関との連携
(2) スポーツ施設の充実と利用しやすい施設の環境整備

第2次大仙市スポーツ推進計画【2014-2018】（平成26年～平成30年）

大仙市スポーツ振興計画【2009-2013】（平成21年～平成25年）

第2章 基本計画

1 ライフステージに応じたスポーツ活動と健康づくりの推進

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味、目的などに応じて、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむことができるように、ライフステージに応じたスポーツ活動を促進し、スポーツを通じた健康増進を図ります。

(1) 子育て世代・働く世代における気軽に取り組めるスポーツ活動の促進

【現状と課題】

大仙市が実施した「運動・スポーツに関する意識調査」（以下、「意識調査」とする。）（平成30年度）によると、週1回以上運動する成人の割合は、36%であり、年代別で見ると40歳代（32%）、50歳代（22%）の子育てや仕事で忙しい世代が特に低くなっています。

また、30代から50代の世代において、一人で運動に取り組んでいる割合が高く、1年間で取り組んだスポーツやこれからやりたいスポーツを見ると、個人種目が上位に挙がってきています。

このことから、子育て世代・働く世代のスポーツ実施率が向上するよう、日常的に気軽にスポーツを楽しめる環境や場の充実を図る必要があります。

【具体的な施策】

〈子育て世代〉

- ①総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」とする。）や企業等と連携し、子育て世代が気軽に親子で体を動かすことを楽しめるようなイベントや教室を開催することを推進します。
- ②スポーツ少年団の保護者が、子どもたちと一緒に練習、運動する機会を設けることを奨励し、日常的に運動に取り組めるようスポーツ少年団に働きかけます。〈新規〉
- ③日常的に立ち寄りやすい場所での運動に取り組めるよう、ショッピングウオーク等を奨励、推進します。〈新規〉

〈働く世代〉

- ①事業所と連携し、「チャレンジデー」等のスポーツイベントへの参加を促進するとともに、大仙市独自のスポーツ啓発イベントを設け、運動することへの意識を高めます。
- ②普段の歩く動作や階段昇降等日常生活の中で体を動かすこともスポーツであるという認識を普及させ、1日10分又は週に1時間、スポーツをする時間を確保することを目指します。〈新規〉
- ③体育施設及び運動できる広場等、気軽に体を動かせる場所のマップを大仙市のホームページに掲載し、一人でも気軽に取り組める運動を促進します。〈新規〉



ボールゲームフェスタ in 大仙

(2) 高齢者における生きがいとしてのスポーツ活動の充実

【現状と課題】

意識調査によると、高齢者世代は運動実施率が30%台であり、仲間や団体で運動を行う傾向にあります。また、「高齢者の生きがい」をスポーツに期待する効果として挙げており、生きがいとしてのスポーツを期待されていることが分かります。

このことから、高齢者が生きがいとして仲間と共にスポーツに親しめるような環境づくりを進めていく必要があります。

【具体的な施策】

①高齢者向けの運動プログラム及びスポーツイベントの開催状況やサークル、団体でのスポーツ活動の取り組みについて、広報やチラシ、大仙市ホームページで情報発信し、スポーツを生きがいとして取り組めるようきっかけ作りに努めます。

②老化による運動機能や認知機能の低下と高齢者の閉じこもりを予防するため、地域包括支援センターと情報共有を図り、運動機能向上を目的とした様々な教室や「大仙いきいき体操」について、日常での取り組みを促進します。〈新規〉

③既存のスポーツの枠にとらわれない新たなルール・スタイルによる、高齢者も無理なく参加できるスポーツの活用・普及を図ります。

④競技志向の高い高齢者世代においても、生涯スポーツに親しみ、自己の技量を試す場として、マスターズ大会等へ参加するための取り組みを奨励します。〈新規〉



悠悠健康教室

(3) 成人の日常的なスポーツを通じた健康づくり

【現状と課題】

意識調査によると、運動・スポーツに期待する効果として、市民の多くが「健康水準の改善」を挙げており、スポーツに対して健康づくりが高い期待を求められていることが分かります。

このことから、障がいの有無にかかわらず、成人が日常的にスポーツに親しむ機会を充実させ、スポーツ活動が健康増進につながる取り組みを進めていく必要があります。

【具体的な施策】

①各地域に設定されているウォーキングコースを活用したイベントを開催するとともに、ウォーキングコースや様々なウォーキング方法を広く情報発信し、日常的に気軽に取り組めるウォーキングの推進を図ります。

②運動や健康に関する意識を高められるよう、健康増進センターと連携し、スポーツイベントや運動教室等の機会を捉えて、パンフレット配布や講演等を行い、健康に関する啓発を促進します。〈新規〉

③「おらだのラヂオ体操」をFMはなびや大仙市ホームページで周知し、日常的な運動習慣としての取り組みを促進します。



チャレンジデー（健康コーナー）

2 子どものスポーツ機会の充実と人材の育成

子どもが運動や遊びを通してスポーツに親しむ習慣や意欲を育てるために、いつでも・どこでもスポーツに取り組むことができるよう、学校体育や放課後の地域における子どものスポーツ機会の充実に努めます。

(1) 学校・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブとの連携強化と指導者の育成確保

【現状と課題】

大仙市のスポーツ少年団は、平成30年10月現在、85単位団、団員1,688名、指導者715名で構成され、活発な団活動が展開されています。その一方で少子化の影響を受け、年々団員数が減少しており、団員の保護者が指導者を務めることが多いことから、指導者数の減少も見られ、指導者不足が懸念されています。

また、子どもたちがやりたいスポーツを継続していくために、スポーツ少年団と学校・総合型クラブとの連携が求められています。

こうした状況を踏まえ、学校・スポーツ少年団・総合型クラブとの連携を強化し、一体となって子どもたちのスポーツ活動を支えていく必要があります。



スポーツ少年団活動

【具体的な施策】

①子どもたちが自分のやりたいスポーツを継続してできるようにするため、スポーツ少年団と学校との情報交換の場を設け、スポーツ少年団と学校の部活動が同じ考え方のもと、活動を進めていける体制づくりに努めます。〈新規〉

②スポーツ少年団が総合型クラブと連携して活動できる体制づくりを進め、子どもたちが充実したスポーツ活動ができる環境づくりに努めます。〈新規〉

③スポーツ少年団と社会人や高校生、中学生が練習場所を共有し、一緒に練習する機会を持つことで交流を図り、教え合う関係ができるよう、関係機関及び団体等への働きかけに努めます。〈新規〉

④指導者や審判を育成確保するため、体育協会やスポーツ少年団等に対し、指導者資格や審判資格の取得を奨励し、資格取得の負担を少なくするため、スポーツ団体等と連携し、大仙市で資格を取るための講習が開催できるような体制づくりに努めます。



大仙市スポーツ少年団指導者等研修会

(2) 子どもの運動習慣の確立

【現状と課題】

文部科学省が小学5年生、中学2年生を対象として実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、大仙市内の児童・生徒は体力・運動能力ともに全国平均を上回っており、体を動かすことが好きという割合も全国平均を上回っています。これは、学校における運動への取り組みが一定の成果を挙げていると考えられ、今後も継続して取り組んでいく必要があります。

その一方で1週間の総運動時間が男女ともに二極化の状況にあり、特に中学生女子については、運動時間が減少する傾向にあります。また、スポーツ少年団では小学校低学年もしくは幼児期から入る子どもが増え、低年齢化が進んでいます。

このことから、幼児期から運動に親しめる環境を充実させるとともに、放課後も子どもたちが進んで運動できる機会を充実させていく必要があります。



アクティブ・チャイルド・プログラム

【具体的な施策】

- ①スポーツ少年団と連携し、「アクティブ・チャイルド・プログラム※」の受講を推奨し、幼児期からスポーツに親しめる環境づくりを推進します。〈新規〉
- ②総合型クラブや民間のスポーツジム等と連携し、子どもたちが放課後体を動かして楽しめるような運動教室や遊びの場を提供し、子どもたちの放課後の居場所づくりに努めます。〈新規〉
- ③本市の児童生徒の実情に応じた体育的活動や体育行事への取組を推進し、学校の教育活動全体における適切な運動経験を通して、子どもたちの運動習慣を確立することを目指します。
- ④「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」により、本市の児童生徒の実情を把握し、多様な運動活動の機会の充実を図り、運動が好きな児童生徒の育成を目指します。〈新規〉

※「アクティブ・チャイルド・プログラム」とは、平成22年度に文部科学省が日本体育協会（現日本スポーツ協会）に委託し作成した、子どもが発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動きや身体を操作する能力を獲得し、高めるための運動プログラム。

(3) スポーツ少年団等への支援

【現状と課題】

スポーツ少年団は、子どもたちがスポーツに関心をもち、スポーツに参加する機会を増やすことにつながっており、子どもたちの放課後のスポーツ機会の充実にもつながっています。

また、スポーツ少年団活動には、保護者と指導者の協力が欠かせず、このことから保護者や指導者の負担を減らすためにもスポーツ少年団への支援を継続していく必要があります。さらに安心してスポーツ少年団の活動に参加してもらうため、問題等が起きたときの相談窓口についても体制を整えておく必要があります。

【具体的な施策】

- ①スポーツ少年団に対しては、充実した団活動と指導者・保護者の負担軽減のため、見直しを行いながら実情に沿った支援を継続します。
- ②スポーツ少年団、小・中学校各種大会への市内スポーツ施設利用料金の減免措置を継続します。
- ③子どもたちの体のことを知り、スポーツによる障害を予防するため、大学や企業等と連携し、小・中学生及び指導者、保護者を対象とした健康やスポーツ障害に関する教室を開催します。〈新規〉
- ④スポーツ少年団活動が円滑に行えるよう、大仙市スポーツ少年団本部及び各支部事務局が窓口となり、スポーツ少年団が抱える課題の解決に向けた助言指導を行います。

3 競技スポーツの振興

東京オリンピック・パラリンピックの開催は、スポーツへの関心を高める契機となり、さらに地元出身選手の活躍は地域に活力をもたらすため、各競技団体や関係機関との連携を図り、競技スポーツの振興が図られるよう、関心向上と活動支援に努めます。

(1) 競技スポーツへの関心の向上

【現状と課題】

意識調査によると、市民のスポーツへの関心は高く、特に「見るスポーツ」への関心が高くなっています。東京オリンピック・パラリンピックの開催とともに市民のスポーツへの関心はさらに高まるものと考えられます。

また身近なスポーツ選手のトップレベルでの活躍は、市民のスポーツに対する興味・関心・意識を高め、自らもスポーツに参加するきっかけとなることが期待されるため、トップレベルの選手と触れ合う機会を増やし、本市の選手やチームの活躍を発信していく取り組みを進めていく必要があります。

【具体的な施策】

- ①プロスポーツチームやトップレベルの試合、各種スポーツ競技大会を誘致することで、ハイレベルスポーツに触れる機会の充実を図ります。
- ②スポーツ団体や企業等と連携し、元プロ選手やレベルの高い技術を有する指導者による、各種スポーツ教室の開催や合宿の誘致を積極的に推進します。
- ③本市で開催される各種大会や全国大会等に出場する選手・チームについて、競技団体から情報収集を行い、広報や大仙市ホームページで選手の活躍を伝えることで、競技スポーツへの関心を高めます。
- ④障がい者スポーツ団体等の関係機関と連携し、スペシャルオリンピックス等障がい者のスポーツ活動を紹介することで、障がい者スポーツに対する理解を深めます。〈新規〉



大仙市少年野球教室

(2) スポーツ関係団体への活動支援

【現状と課題】

大仙市では、大仙市体育協会が、各種スポーツ競技団体を代表する団体として、スポーツの普及発展とスポーツ技術の向上に貢献しています。特に大仙市と同協会が定めるスポーツ賞は、毎年100名を超える競技スポーツ選手が表彰されており、スポーツ選手の大きな励みとなっています。

このことから、競技スポーツに対しての意識高揚を図るためにも、競技団体への活動支援の充実を図る必要があります。

【具体的な施策】

- ①大仙市体育協会に対しては、競技団体が充実した活動を行うために、実情に即した効果的な支援を検討します。
- ②「大仙市スポーツ賞」の表彰を行い、国際大会及び全国大会、東北大会、全県大会において上位入賞した選手及び市のスポーツ振興に貢献のあった個人・団体に対し、競技スポーツに対しての意識の高揚を図ります。
- ③大仙市体育協会と連携し、全国や世界で活躍する選手やチームに対して、支援する体制づくりに努めます。
- ④指導者や審判員の資格を取得するための支援のあり方について検討し、指導者、審判員の育成、確保に努めます。

4 スポーツによる地域の活性化と交流人口の拡大

地域の賑わいや活性化を図るため、スポーツを活用した地域づくりを進め、市民の一体感の醸成と活力ある地域社会の実現を目指します。

(1) 500歳野球大会による地域で支えるスポーツと交流活動の推進

【現状と課題】

これまで大仙市では、県内外からのスポーツ合宿やプロスポーツチーム等の試合誘致や全県規模のスポーツイベントを開催しており、特に出場選手9人の合計年齢が500歳以上という特別ルールを設定した「全県500歳野球大会」では、毎年4,000人以上の選手が参加しています。それに加え、平成29年度からは「全国500歳野球大会」を開催し、「野球に燃える親父たちの甲子園」というキャッチフレーズのもと、全国に500歳野球を普及する試みを始めています。

しかし、実際に球場へ足を運び、試合を観戦する観客が少なく、市民の500歳野球大会への関心を高める必要があると考えられます。

大仙市の大規模スポーツイベントである500歳野球大会に、選手だけでなく市民が愛着を持ち、実際に大会に関わるとともに、市民・企業・行政が一体となって大会を盛り上げることが、「支えるスポーツ」の促進と地域の活性化につながると考えられます。

【具体的な施策】

- ①全国500歳・全県500歳野球大会チームの応援企画を立ち上げ、応援する市民にもスポットを当て、地域への愛着と一体感の創出を図ります。〈新規〉
- ②全国500歳野球大会では、小・中学校や企業と協働し、県外チームへのおもてなし企画やアトラクション等、応援に来る家族も楽しめる大会を目指し、大仙市への誘客を図ります。
- ③全国500歳野球大会については、「親父たちの甲子園」として各都道府県の代表1チームが出場することを旨とし、全国の関係団体との連携を強化するとともに、500歳野球を周知するための普及活動とメディアの活用やDVD、チラシ、ポスター等で積極的にPRを行い、交流人口の拡大を図ります。



全国500歳野球大会

(2) 大仙市の特性を活かしたスポーツによる地域づくり

【現状と課題】

大仙市には、野球場や室内練習場をはじめとした体育施設が充実しており、県内外の団体が大仙市へスポーツ合宿に訪れています。平成30年度には、団体、延べ約5,000人が大仙市へスポーツ合宿に訪れ、スポーツ施設や宿泊施設の有効活用に効果を挙げており、リピート率も高くなっています。その一方で合宿の経費を抑えるため、合宿期間を短くする団体が増えています。今後は、オールシーズンを通して合宿に来てもらうことが、大仙市で合宿を行う団体を増やすことにつながると考えられます。

また、大規模なスポーツイベントを誘致することで、大仙市のスポーツイベントに対する市民の関心を高め、地域の賑わいや活性化を図っていく必要があります。

さらに大仙市には、3つのスキー場があり、ウィンタースポーツのできる環境が充実しています。家にこもりがちになる冬に体を動かしてもらうため、家族でスキー場を訪れる機会を増やし、市内スキー場を積極的に活用してもらうことが、地元経済を活性化し、地域の賑わいにつながると考えられます。



スポーツ合宿（日本体育大学集団行動）

【具体的な施策】

- ①大仙市のスポーツ環境を全国の大学や競技団体等へパンフレットやチラシ、ホームページ等でPRすることで、シーズンを通じたスポーツ合宿誘致を推進し、市内宿泊施設とスポーツ施設の有効活用と地域の活性化を図ります。
- ②雪国ならではの特性を活かし、市内スキー場の小・中学生のシーズン券無料配布を継続し、ウィンタースポーツを通じて、市内スキー場の活用による地域の活性化を図ります。
- ③プロスポーツチーム等の試合やスポーツイベントの誘致を推進し、市内外からの誘客により交流人口の拡大を図るとともに、多くの市民から観戦、参加してもらうことにより、地域の賑わいの向上を図ります。
- ④「チャレンジデー」などの住民参加型スポーツイベントにより、市民の一体感を創出するとともに、総合型クラブや公民館と連携し、地域でのスポーツイベントを開催することによって、地域の活性化のきっかけづくりを図ります。
- ⑤大仙市のスポーツイベントへの市民の関心を高めるために、広報や大仙市ホームページでの周知に加え、スポーツイベントの前日や当日に拡声器機等を利用し、参加や観戦を呼びかけ、地域の賑わいの創出を図ります。

(3) スポーツを通じた大仙市の魅力発信

【現状と課題】

大規模なスポーツイベントの開催は、選手やその家族のほか多くの観客が本市に訪れることが見込まれます。そのため、地域特産品の販売等、様々な経済効果のほか、観客に対する観光PRなど、大仙市の情報発信効果が期待されることから、市内の企業と協力し、スポーツイベント等において積極的に大仙市の魅力を発信し、県内外へPRしていく必要があります。

【具体的な施策】

- ①大仙市主催のスポーツイベントや大会等で企業や飲食店等からの協賛協力をもらうことにより、プログラムやチラシにクーポン券等の特典をつけ、滞在期間中、大仙市内の飲食店や観光施設を数多く訪れてもらえるよう、大仙市の魅力を発信していきます。〈新規〉
- ②スポーツイベントや大会での参加賞や副賞に大仙市の特産品をつけるとともに、観光物産協会等と連携し、全国500歳野球で開発した特産品弁当やお酒等を他のイベントでも紹介、周知することで、大仙市の特産品の魅力をPRしていきます。

5 地域のスポーツ活動の充実と環境の整備

地域の実情に合わせて、気軽にスポーツ活動を行うことができるよう、総合型クラブと関係機関等との連携を図り、自主的な運営に向けた支援を行うとともに、スポーツ推進委員の研修機会を充実させ、更なる資質の向上を図ります。

また、スポーツ施設の有効活用や計画的な補修整備を行うとともに、利便性の高い施設の充実に努めます。

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成支援と関係機関との連携

【現状と課題】

大仙市内では平成30年10月現在、9つ（大曲：3、神岡・南外：1、西仙北：1、中仙：1、協和：1、仙北：1、太田：1）の総合型クラブが活動しており、地域の実情に合わせたスポーツ教室やイベントの開催、公共スポーツ施設の指定管理業務を行っています。

しかし、総合型クラブ自体の認知度が低いため、地域への定着が進まず、自立した運営を行うことが難しいのが現状です。総合型クラブの定着・育成が図られることにより、地域スポーツの充実とともに、子どもたちの居場所づくり、世代間交流等の効果が期待できるため、総合型クラブと関係機関との連携を強化し、支援を継続していく必要があります。

また、本市には55名（平成30年度）のスポーツ推進委員がおり、スポーツイベントでの実技指導やスポーツ事業の運営、総合型クラブの運営にも積極的に協力しています。今後はスポーツ推進委員の立ち位置を明確にし、地域のスポーツ活動に主体的に関われるようにする必要があります。



【具体的な施策】

①総合型クラブの自主的な運営に向けて、市内の総合型クラブ同士が情報交換できる場を持つよう連絡協議会を立ち上げるなど、指導、助言、支援に努めます。〈新規〉

②総合型クラブに体育協会やスポーツ少年団の各支部事務局を置き、総合型クラブと地域のスポーツ団体との連携強化を図り、地域のスポーツ団体やサークルが総合型クラブの会員として活動できる体制づくりに努めます。

③スポーツ推進委員は、各地域の総合型クラブに所属し、地域のスポーツ活動の担い手となるよう研修機会の充実を図ることで、委員のスキルアップを図ります。〈新規〉

④総合型クラブの紹介、会員募集、スポーツイベント・教室開催等、広報、大仙市ホームページ、FMはなび等を通じて情報発信し、総合型クラブの認知度を高め、地域のスポーツ活動の活性化を図ります。〈新規〉



スポーツ推進委員研修会

(2) スポーツ施設の充実と利用しやすい施設の環境整備

【現状と課題】

意識調査によると、多くの市民が公共施設を利用して運動・スポーツを行っており、市に力を入れてほしいこととして、「体育施設の条件整備」を挙げています。平成19年の「秋田わか杉国体」を契機として整備されたスポーツ施設も、整備から10年以上が経過し、毎年の維持管理費に加え、老朽化による補修整備が必要な施設も出てきており、限られた財政状況の中で、計画的な補修整備を行う必要があります。

また、施設の利用方法については、施設の予約、申請等、利用者にとって分かりづらい面や不便を感じる点もあるという声が聞かれることから、市民にとって気軽に利用できる施設となるような施設運営と効果的な活用に向けて取り組んでいく必要があります。



大仙市総合公園野球場



「大曲の花火」公園 サッカー場

【具体的な施策】

- ①大仙市公共施設等総合管理計画に基づき、スポーツ施設を安心して利用できるよう、施設の補修整備を進め、安全性の確保に努めます。
- ②身近で利用しやすい地域スポーツの活動拠点として、市内小・中学校スポーツ施設の開放と公民館等に併設しているスポーツ施設の利用を促進します。
- ③総合型クラブの拠点ともなるスポーツ施設については、総合型クラブが施設を管理する体制づくりを推進し、適切で効率的な施設の維持・管理を図ります。
- ④市民がスポーツ施設を利用しやすいようホームページ等に市内のスポーツ施設の情報（利用時間、利用料金、休館日、申込方法等）を分かりやすく掲載するとともに、地域の施設情報一覧を公民館等で配布できるようにします。
- ⑤施設ごとのアンケート調査を継続し、スポーツ施設の実態や市民のニーズを把握することで、全ての市民が利用しやすいスポーツ施設となるよう、必要に応じて利用時間や利用料金の見直しを検討します。
- ⑥障がい者がスポーツ施設等を利用する上で必要な情報提供を行うことで、障がい者も日常的にスポーツに親しめる環境づくりに努めます。



秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場



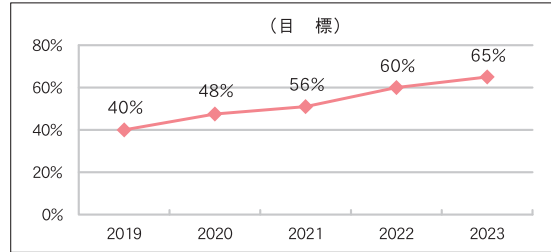
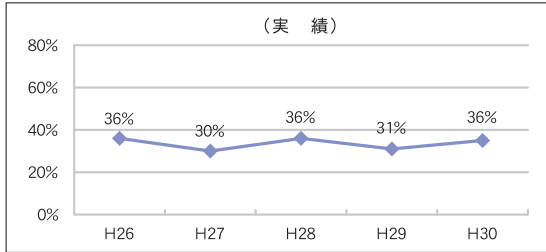
八乙女運動公園テニスコート

第3章 計画の推進に向けて

1 数値目標

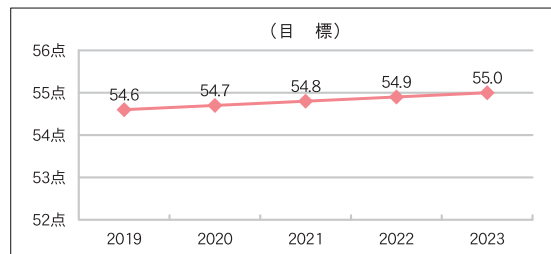
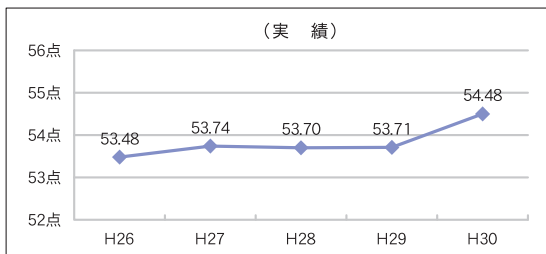
① 週1回以上スポーツを行う人の割合 **目標 65%**

国の第2期スポーツ基本計画で、政策目標65%を目指すとしており、大仙市でもスポーツ基本計画の目標達成に向け、国の政策目標値の65%を設定しています。



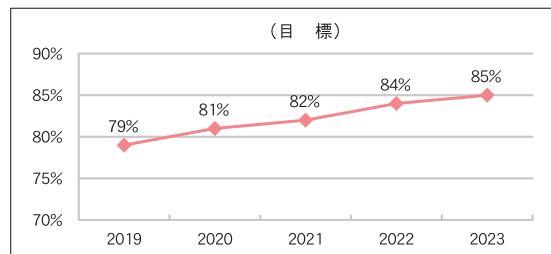
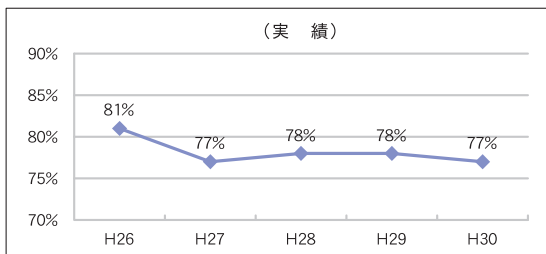
② 子どもの体力水準(全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の平均) **目標 55.0点**

国のスポーツ基本計画の中で、子どもの体力水準を昭和60年頃の体力水準まで引き上げるとしています。数値目標は大仙市の小中学生の体力合計点の平均として示し、県が毎年0.1点ずつ上げることを目標としているため、それに準じて大仙市も0.1点ずつ上げることを目標とし、数値目標を55.0点としています。



③ 健康であると認識している人の割合 **目標 85%**

大仙市で毎年行っている運動・スポーツにおける意識調査の中で、運動・スポーツに期待する効果として、1番に健康水準の改善が挙げられています。意識調査では70%台後半の横ばい状態であり、5年前の数値の81%以上の市民が健康だと認識できることを目標に、数値目標を85%としています。



④ 全国500歳野球大会県外チームの数 **目標 30チーム**

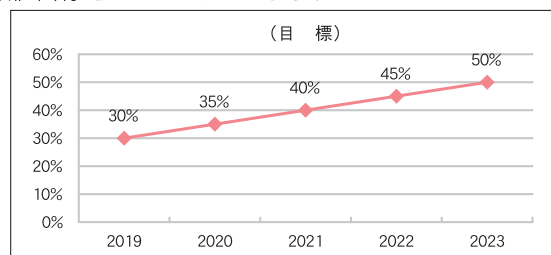
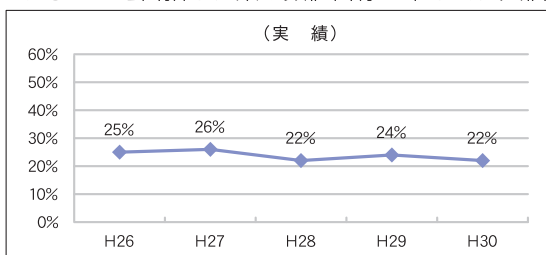
500歳野球は、秋田県では活発に行われているものですが、全国ではまだ普及の段階にあります。その中でまずは県外からの参加チームを毎年2チームずつ増やすことを目標とし、数値目標を30チームとしています。

大会回数	1回 (H29)	2回 (H30)
チーム数	18	21

大会回数	3回 (2019年)	4回 (2020年)	5回 (2021年)	6回 (2022年)	7回 (2023年)
チーム数	22	24	26	28	30

⑤ 総合型地域スポーツクラブを知っている人の割合 **目標 50%**

総合型地域スポーツクラブは、今後の地域スポーツ活動の中心となることが期待されており、認知度を上げることでより会員の拡大を図ることが県の計画の中でも上げられています。大仙市でも総合型地域スポーツクラブの認知度を上げることを目指し、県の数値目標に準じて、大仙市も数値目標を50%としています。



2 計画の推進

第3次大仙市スポーツ推進計画の推進にあたっては、行政だけではなく、市民やスポーツ関係団体の理解と協力のもとに「協働」して実践していくことが重要です。

そのために、市民一人ひとりがそれぞれの場面で主体的に「参加」していくことが必要です。

その実現のため、本計画の内容について積極的に広報やホームページ等で周知を図ることで市民の「参画」を促します。

3 計画の評価及び見直し

計画の評価については、市民、各種団体関係者、スポーツ指導者、学識経験者等と連携を図り、意見・情報の交換等を行い、計画の評価及び見直しができるよう取り組みます。

また、進捗状況や社会情勢の変化に対応し、毎年実施している意識調査などを指標として活用しながら、見直しを行い計画の充実を図ります。



チャレンジデーの様子

資料編

- 大仙市におけるスポーツ実施状況推移・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（大仙市）・・ 19
- 第3次大仙市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱・・・・・・・・ 20
- 第3次大仙市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿・・・・・・・・ 21
- 第3次大仙市スポーツ推進計画策定経過・・・・・・・・・・・・ 22
- 大仙市スポーツ・レクリエーション施設一覧・・・・・・・・・・・・ 23



ボールフェスタ in 大仙

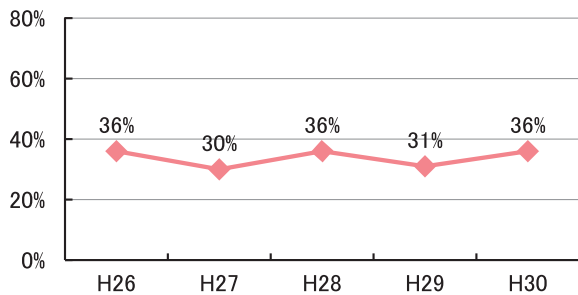


投球障害予防教室

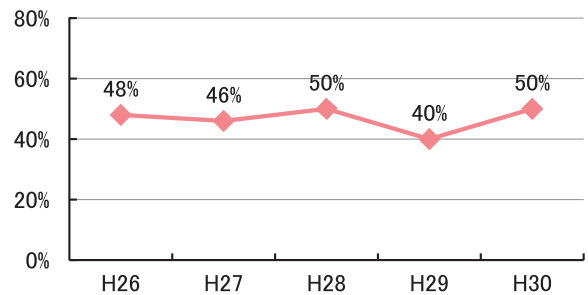
大仙市におけるスポーツ実施状況推移

(H26～30年度 運動・スポーツに関する意識調査より)

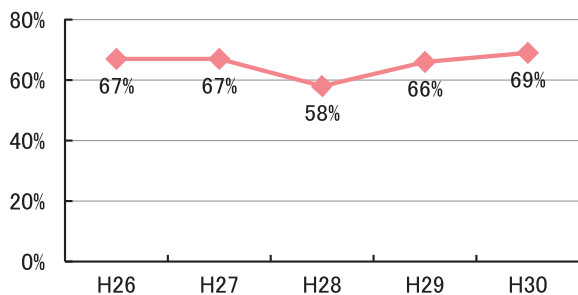
週1回以上スポーツを行う人の割合



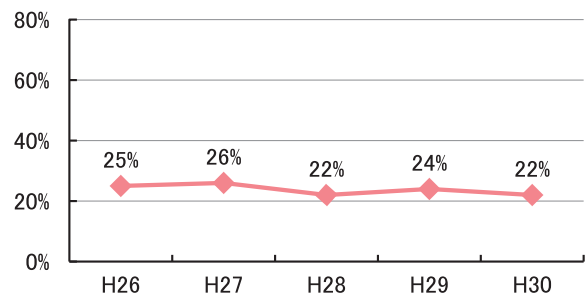
運動・スポーツクラブ、サークル等への加入率



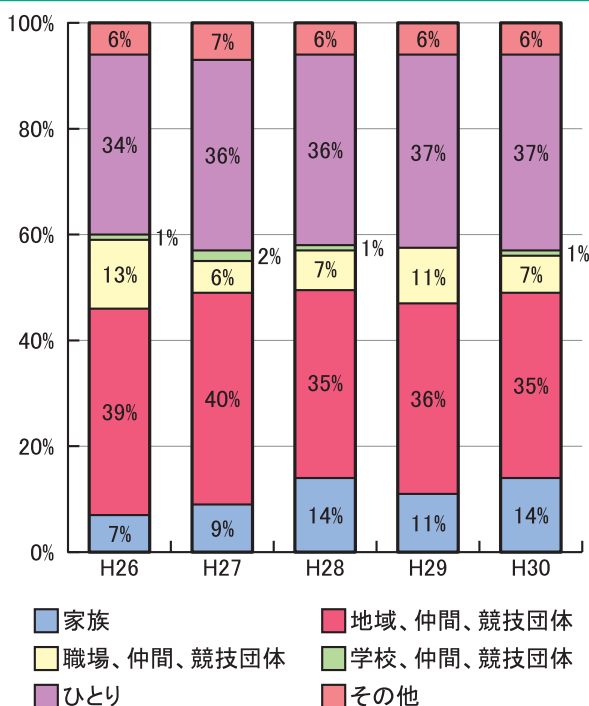
運動・スポーツ活動に満足している人の割合



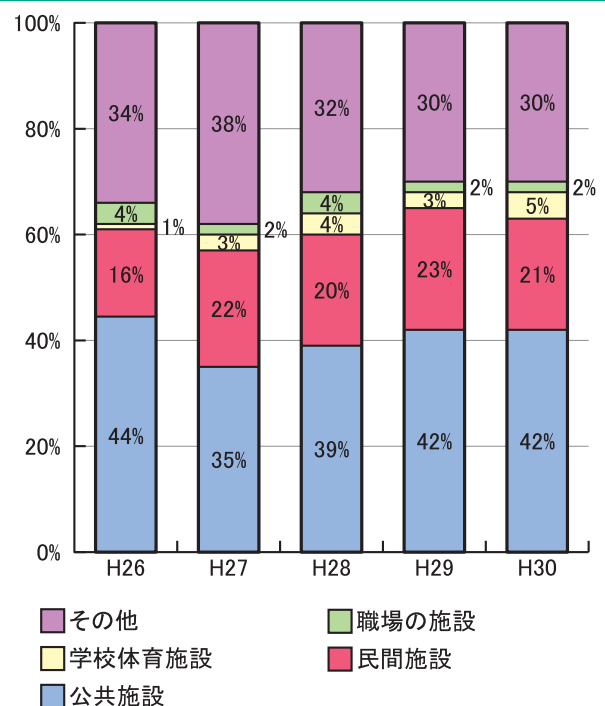
総合型地域スポーツクラブを知っている人の割合



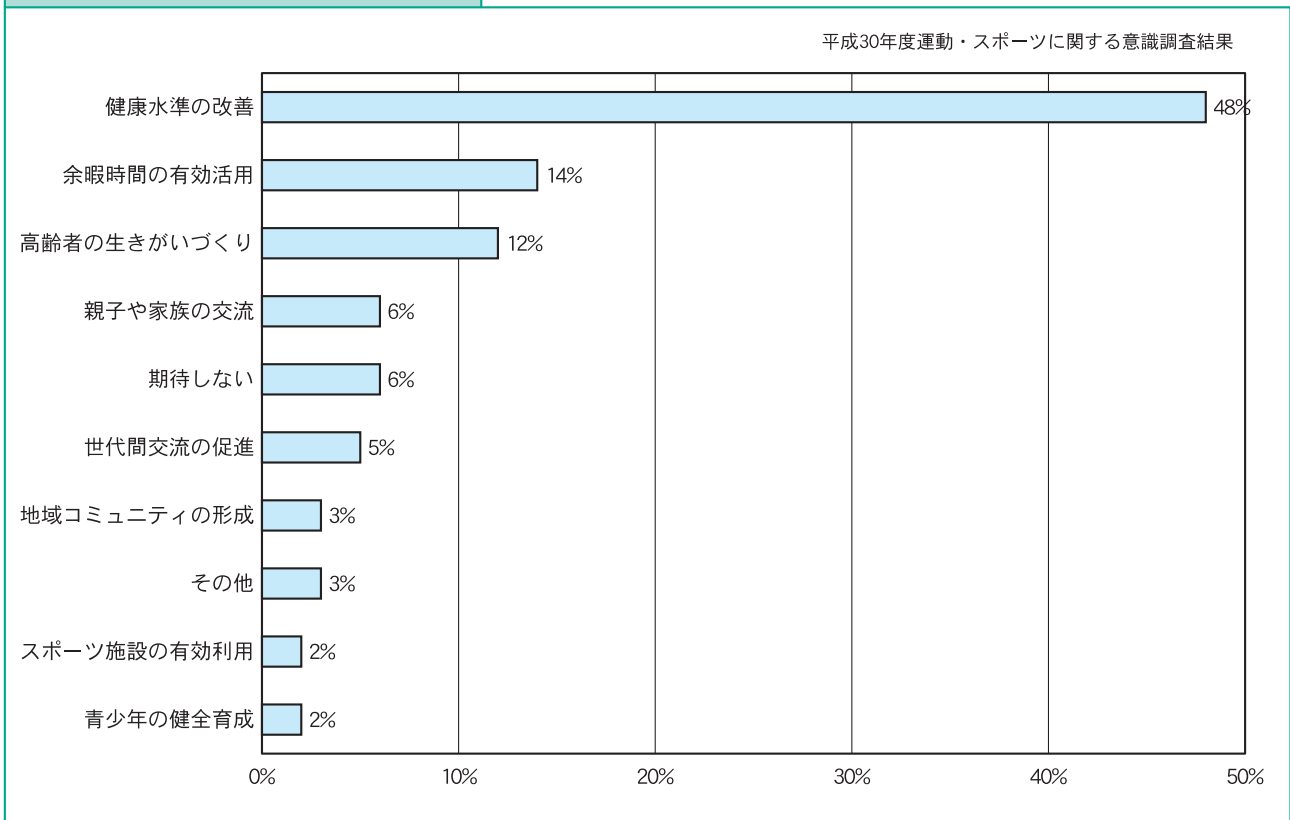
運動・スポーツを一緒に行う人



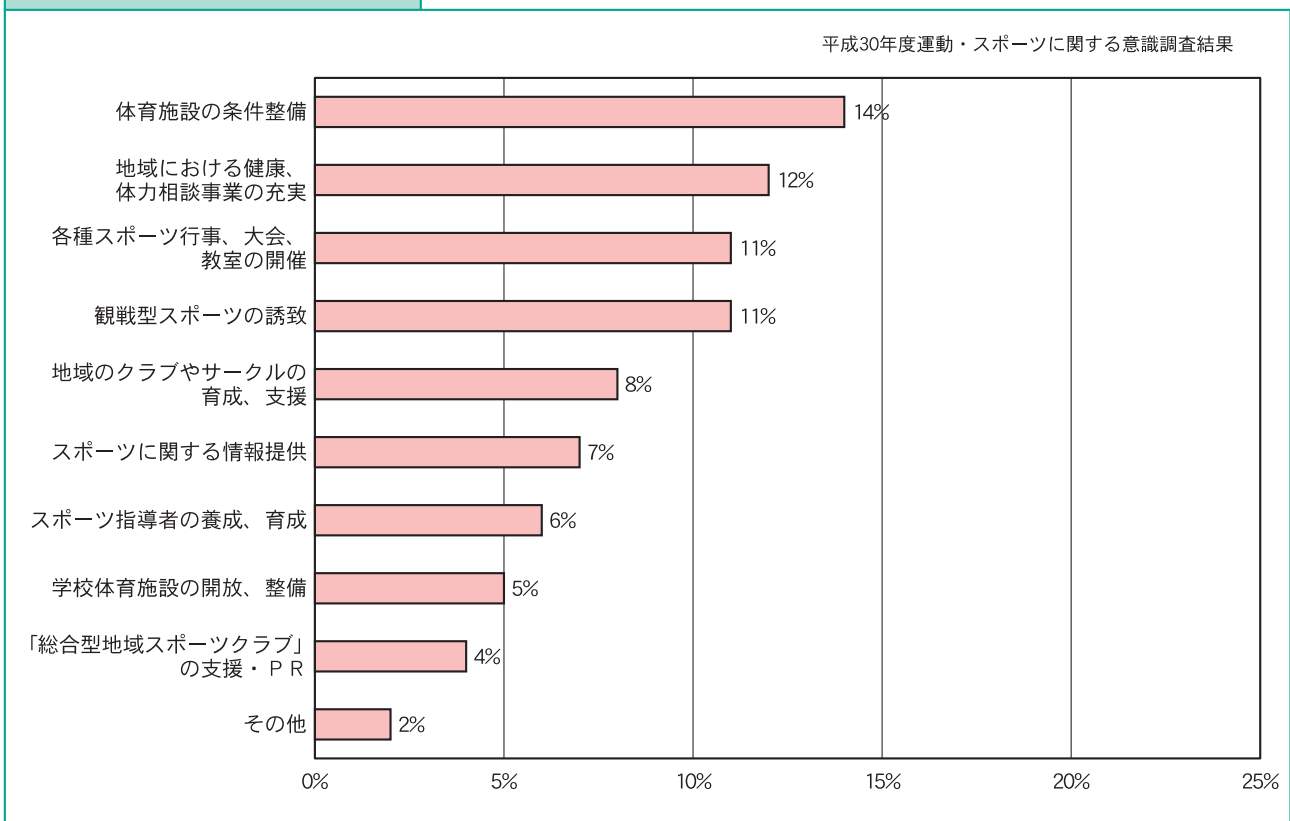
運動・スポーツを行っている場所



運動・スポーツに期待する効果



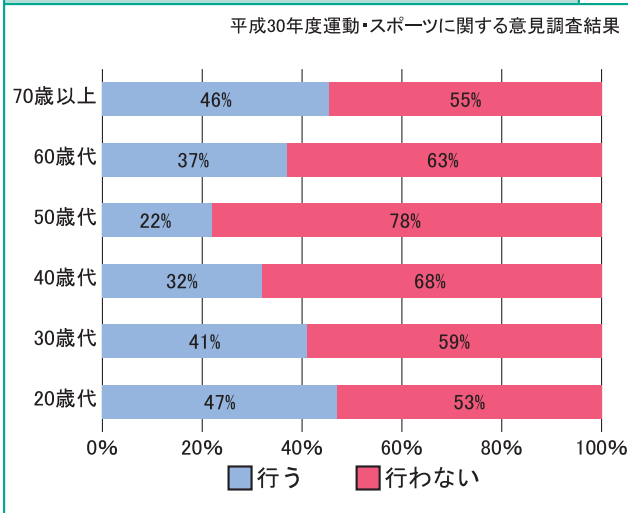
市に力を入れてほしいこと



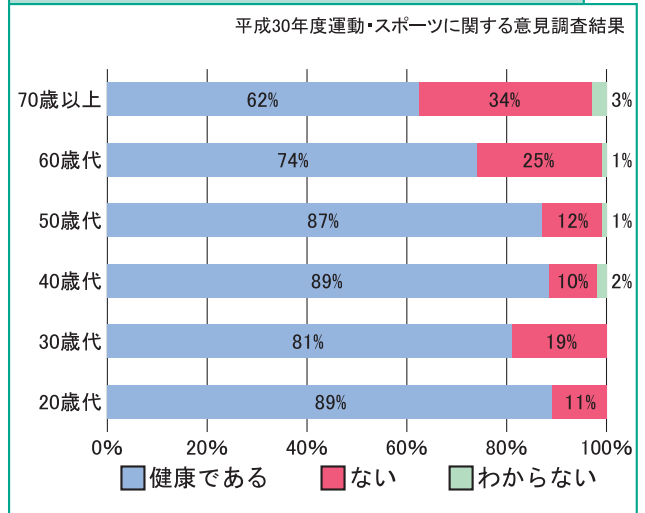
大仙市における年代ごとのスポーツ実施状況

(大仙市 H30運動・スポーツに関する意識調査より)

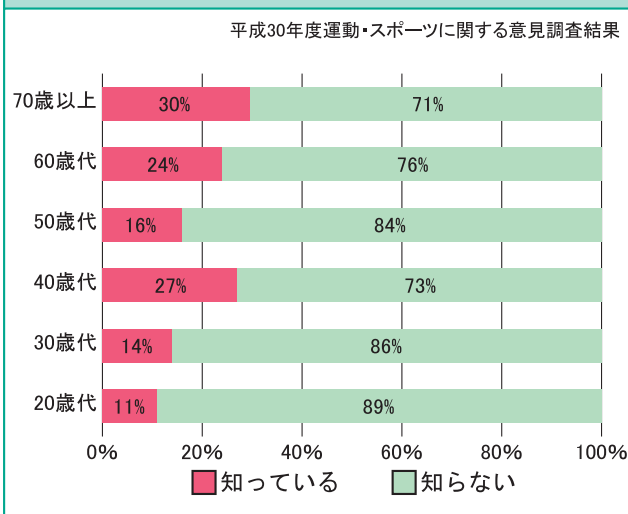
① 週1回以上スポーツを行う人の割合



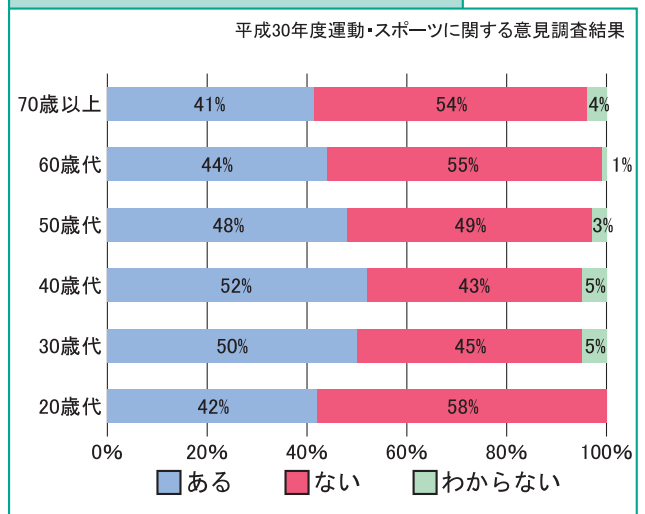
② 健康であると認識している人の割合



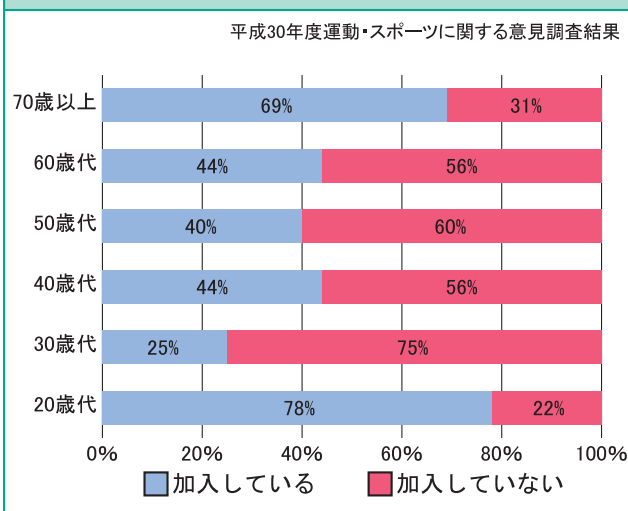
③ 総合型地域スポーツクラブを知っている人の割合



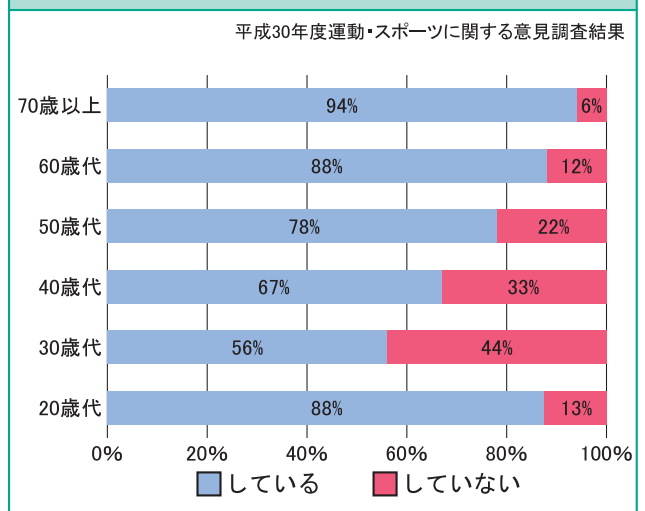
④ 体力に自信のある人の割合



⑤ 運動・スポーツクラブ、サークル等への加入率



⑥ 運動・スポーツ活動に満足している人の割合

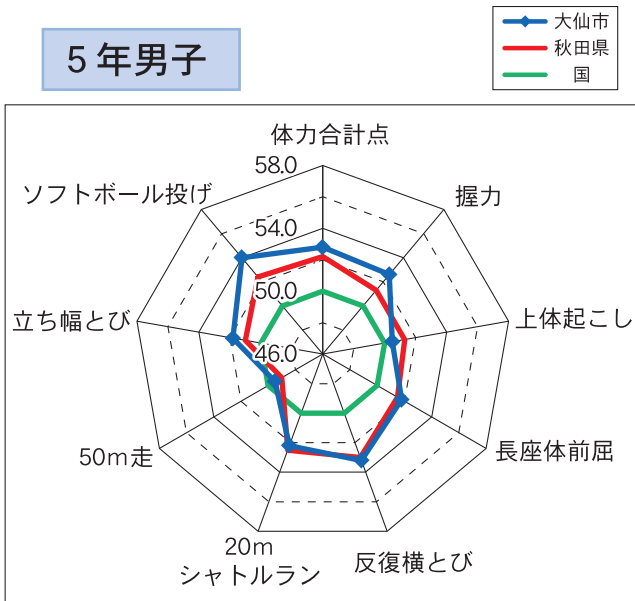


平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

※グラフは各種目、体力合計点を全国平均を50として比較（T得点）
（体力合計点：実技の数値を得点化し合計したもの）

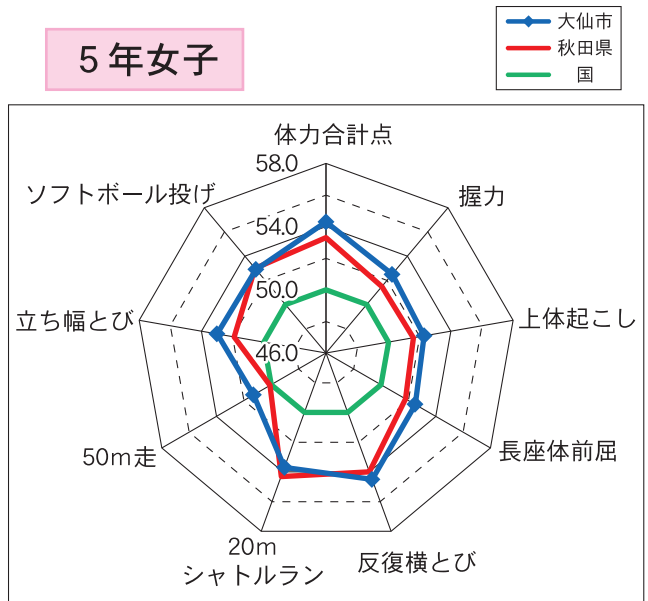
1 小学校の状況

5年男子



学年	性別	体力(点)	握力(kg)	上体(回)	長座(cm)	反復(点)	シャトル(回)	50m(秒)	立幅(cm)	77投(m)
			小5男子	全国	54.21	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15
	秋田県	56.22	17.03	20.69	34.53	44.47	57.40	9.47	154.45	24.15
	大仙市	56.79	17.54	20.27	34.82	44.67	56.87	9.42	156.12	25.41

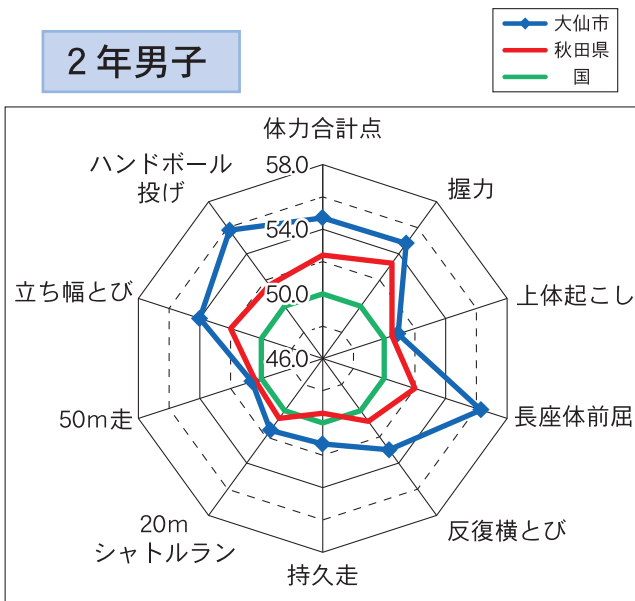
5年女子



学年	性別	体力(点)	握力(kg)	上体(回)	長座(cm)	反復(点)	シャトル(回)	50m(秒)	立幅(cm)	77投(m)
			小5女子	全国	55.90	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88
	秋田県	58.77	16.72	19.82	39.11	43.19	48.99	9.59	149.85	15.21
	大仙市	59.62	17.11	20.19	39.72	43.55	48.13	9.49	152.15	15.16

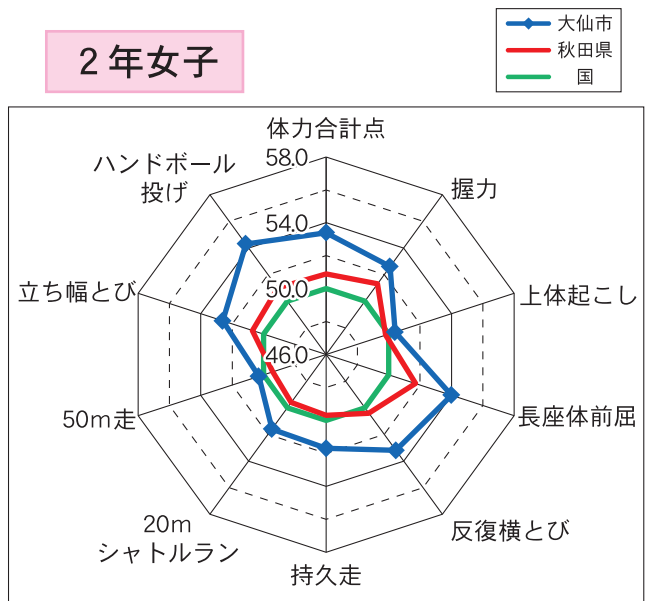
2 中学校の状況

2年男子



学年	性別	体力(点)	握力(kg)	上体(回)	長座(cm)	反復(点)	持久(秒)	シャトル(回)	50m(秒)	立幅(cm)	ハンド投(m)
			中2男子	全国	42.32	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06
	秋田県	44.75	31.24	27.67	45.58	52.89	396.68	87.61	7.95	201.31	21.47
	大仙市	47.15	32.25	27.93	50.08	54.63	384.40	89.75	7.93	206.87	23.85

2年女子



学年	性別	体力(点)	握力(kg)	上体(回)	長座(cm)	反復(点)	持久(秒)	シャトル(回)	50m(秒)	立幅(cm)	ハンド投(m)
			中2女子	全国	50.61	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87
	秋田県	51.58	24.45	23.76	47.89	47.63	288.11	58.14	8.83	171.99	13.42
	大仙市	54.36	25.08	24.11	50.15	49.56	279.34	63.07	8.76	176.71	14.78

第3次大仙市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 第3次大仙市スポーツ推進計画の策定に際し、必要な事項を協議し、計画の原案を作成するため、第3次大仙市スポーツ推進計画策定委員会（以下、「策定委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) スポーツ関係団体等の代表者
- (4) 公募による市民
- (5) 委員長が必要と認める者

(委員長及び副委員長)

第3条 策定委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員長は大仙市教育委員会生涯学習部長の職にある者をもって充てる。

- 2 委員長は、策定委員会を代表し、会議の議長となる。
- 3 副委員長は、委員長が指名し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 策定委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、策定委員会の委員以外の者を会議に出席させ、説明を求め、又は意見を聴取することができる。

(検討部会)

第5条 計画原案の作成に際し、専門的事項の検討及び研究調査を行うため、策定委員会に検討部会を設置する。

- 2 検討部会の委員は、別表第1に掲げる課のスポーツ振興に関わる職員をもって充てる。
- 3 検討部会に部会長を置き、部会長はスポーツ振興課長とする。
- 4 部会長は、必要があると認められるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明を求め、又は意見の聴取をすることができる。
- 5 部会長は、検討部会を代表し、会議の議長となる。

(任期)

第6条 策定委員会及び検討部会の委員の任期は、第3次大仙市スポーツ推進計画の策定が完了するまでの期間とする。

(庶務)

第7条 策定委員会及び検討部会の庶務は、スポーツ振興課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営その他必要な事項は、委員長が定める。

(附則)

この要綱は、平成30年4月1日から施行し、策定が完了した時点で失効する。

別表第1

大仙市スポーツ推進計画策定委員会 検討部会

部 課 名	
企画部	総合政策課
健康福祉部	地域包括支援センター
健康福祉部	健康増進センター
建設部	都市管理課
教育委員会教育指導部	教育総務課
教育委員会教育指導部	教育指導課
教育委員会生涯学習部	生涯学習課
教育委員会生涯学習部	神岡中央公民館
教育委員会生涯学習部	西仙北中央公民館
教育委員会生涯学習部	中仙公民館
教育委員会生涯学習部	協和公民館
教育委員会生涯学習部	南外公民館
教育委員会生涯学習部	仙北公民館
教育委員会生涯学習部	太田公民館
教育委員会生涯学習部	スポーツ振興課

第3次大仙市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

策定委員会

No	氏名	所属等	備考
1	藤原 聖一	大仙市体育協会 会長	
2	伊藤 勝	大仙市スポーツ推進委員会 委員長	
3	小笠原 重夫	大仙市スポーツ少年団 本部長	
4	鈴木 清仙	中仙スポーツクラブ 会長（総合型地域スポーツクラブ）	
5	伊藤 恵	市民代表（公募）	
6	伊藤 昇司	市民代表（公募）	
7	伊藤 恵造	学識経験者（秋田大学教育文化学部 准教授）	監修
8	松岡 伸幸	学識経験者（株大曲スポーツセンター社長）	
9	今野 敏行	大曲仙北中学校体育連盟 会長（中仙中学校長）	
10	小笠原 晃	大仙市小中学校長会 会長（西仙北中学校長）	
11	佐々木 隆幸	企画部総合政策課 課長	
12	小林 孝至	健康福祉部地域包括支援センター 所長	
13	佐々木 月野	健康福祉部健康増進センター 所長	
14	今 和則	建設部都市管理課 課長	
15	高野 一志	教育委員会教育指導部 部長	副委員長
16	安達 成年	教育委員会生涯学習部 部長	委員長
17	田口 広龍	教育委員会教育指導部教育総務課 課長	
18	築地 高	教育委員会教育指導部次長兼教育指導課 課長	
19	佐藤 正道	教育委員会生涯学習部生涯学習課 課長	
20	伊藤 優俊	教育委員会生涯学習部次長兼スポーツ振興課 課長	

検討部会

No	氏名	所属等	備考
1	伊藤 優俊	教育委員会生涯学習部 スポーツ振興課	部会長
2	今 暁	企画部 総合政策課	
3	坂本 昌士	健康福祉部 地域包括支援センター	
4	福田 祐子	健康福祉部 健康増進センター	
5	鈴木 政勝	建設部 都市管理課	
6	木村 勇輝	教育委員会教育指導部 教育総務課	
7	田口 匡浩	教育委員会教育指導部 教育指導課	
8	大河 善晴	教育委員会生涯学習部 生涯学習課	
9	渡邊 一光	教育委員会生涯学習部 神岡中央公民館	
10	伊藤 雅裕	教育委員会生涯学習部 西仙北中央公民館	
11	藤田 裕紀	教育委員会生涯学習部 中仙公民館	
12	小林 正	教育委員会生涯学習部 協和公民館	
13	菊地 明憲	教育委員会生涯学習部 南外公民館	
14	須田 康平	教育委員会生涯学習部 仙北公民館	
15	兼田 知幸	教育委員会生涯学習部 太田公民館	

第3次大仙市スポーツ推進計画策定経過

年 月 日	内 容	備 考
平成29年12月15日	秋田大学訪問	秋田大学教育文化学部
平成30年 4月 1日	スポーツ推進計画策定委員会設置要綱 施行	
平成30年4月16～27日	スポーツ推進計画策定委員会市民委員公募	
平成30年 6月 5日	秋田大学伊藤恵造先生への指導協力依頼	秋田大学教育文化学部
平成30年 6月 5日	秋田大学教育文化学部総務課へ派遣依頼	秋田大学
平成30年 6月22日	スポーツ推進計画策定委員委嘱	
平成30年 6月22日	第1回スポーツ推進計画策定委員会	大曲図書館 視聴覚室
平成30年 8月 7日	スポーツ振興計画策定検討部会担当者委嘱	
平成30年 8月 7日	第1回スポーツ推進計画検討部会	大曲図書館 視聴覚室
平成30年 8月31日	第2回スポーツ推進計画策定委員会	大曲図書館 視聴覚室
平成30年10月19日	第2回スポーツ推進計画検討部会	大曲図書館 視聴覚室
平成30年11月26日	第3回スポーツ推進計画策定委員会	大曲図書館 視聴覚室
平成31年 1月 9日	第3回スポーツ推進計画検討部会	大曲図書館 視聴覚室
平成31年 1月26日	第4回スポーツ推進計画策定委員会	大曲図書館 視聴覚室

大仙市スポーツ・レクリエーション施設一覧

区分	No.	施設名	所在地	設置年度	競技面数	問い合わせ先	AED
体 育 館	1	大曲体育館	大曲花園町1番1号	平成14年	バレーボール2面 バスケットボール2面	大曲体育館 0187-63-1122	♥
	2	花館公民館体育館	花館上町5番19号	昭和53年	バレーボール1面 バスケットボール1面	花館公民館 0187-62-3012	♥
	3	内小友公民館体育館	内小友字仙北屋68番地2	昭和53年	バスケットボール1面 バドミントン2面	内小友公民館 0187-68-2033	♥
	4	大川西根公民館体育館	大川西根字小館10番地	昭和56年	バレーボール1面 バスケットボール1面	大川西根公民館 0187-68-3531	♥
	5	藤木公民館体育館	藤木字乙本藤木8番地	昭和55年	バレーボール1面 バスケットボール1面	藤木公民館 0187-65-2823	♥
	6	四ツ屋公民館体育館	四ツ屋字西下瀬162番地4	昭和56年	バレーボール1面 バスケットボール1面	四ツ屋公民館 0187-66-1500	♥
	7	角間川公民館体育館	角間川字四上町1番地	昭和55年	バレーボール1面 バスケットボール1面	角間川公民館 0187-65-2545	♥
	8	サンクエスト大曲	大曲日の出町一丁目23番3号	平成4年	バレーボール1面 バスケットボール1面	サンクエスト大曲 0187-63-5572	♥
	9	はびねす大仙	幸町2番70号	平成22年	バレーボール1面 バスケットボール1面	はびねす大仙 0187-88-8722	♥
	10	健康文化活動拠点センター 「ベアーレ大仙」	大曲中通町9番24号	平成11年	多目的ホール1・教室6	ベアーレ大仙 0187-63-8600	♥
	11	神岡体育館	神宮寺字大坪街道下22番地	昭和58年	バレーボール2面 バスケットボール1面	嶽ドーム 0187-72-2721	♥
	12	西仙北スポーツセンター	刈和野字小野17番地1	平成2年	バスケットボール2面	西仙北スポーツセンター 0187-75-0552	♥
	13	土川体育館	土川字半道寺西野1番地	平成24年	バスケットボール1面	西仙北中央公民館 0187-75-1115	♥
	14	西仙北西体育館	強首字上野台92番地1	平成24年	バスケットボール1面	西仙北中央公民館 0187-75-1115	♥
	15	中仙農業者トレーニングセンター	長野字一ノ坪58番地	昭和62年	バレーボール2面 バスケットボール1面	長野分館 0187-56-4120	♥
	16	中仙総合スポーツ施設 「サン・ビレッジ中仙」	豊岡字中荒井野155番地3	平成7年	バレーボール2面 バスケットボール2面	豊岡分館 0187-57-2010	♥
	17	八乙女交流センター	長野字長野山88番地	平成19年	バレーボール2面 バスケットボール2面	八乙女交流センター 0187-56-3870	♥
	18	サン・スポーツランド協和体育館	協和船岡字大袋2番地2	平成18年	バスケットボール2面 格技場・ランニングコース	サンスポーツランド協和(体) 018-892-3088	♥
	19	稲沢体育館	協和稲沢字堤ヶ沢出口6番地	平成6年	バスケットボール1面	協和公民館 018-892-3698	
	20	協和第2体育館	協和峰吉川字南明谷地1番地	平成2年	バスケットボール1面	協和公民館 018-892-3698	
	21	小種体育館	協和小種字上鏡台2番地1	昭和63年	バスケットボール1面	協和公民館 018-892-3698	
	22	協和淀川農林漁業者トレーニングセンター	協和下淀川字車田48番地	昭和62年	バスケットボール1面	淀川分館 018-896-2111	
	23	南外体育館	南外字梨木田208番地3	平成5年	バレーボール2面 バスケットボール2面	南外体育館 0187-73-1005	♥
	24	ふれあい体育館	堀見内字下田茂木122番地	平成21年	バレーボール2面 バスケットボール2面	ふれあい体育館 0187-69-2115	♥
	25	太田体育館	太田町横沢字堤田369番地1	昭和52年	バレーボール2面 バスケットボール1面	太田体育館 0187-88-1350	♥
	26	太田体育館クラブハウス	太田町横沢字堤田369番地4	平成8年	ミーティング室2 クラブルーム6・指導員室2	太田体育館 0187-88-1350	
	27	太田トレーニングセンター	太田町太田字築地古館27番地1	平成3年	バレーボール2面 バスケットボール1面	太田体育館 0187-88-1350	♥
						小計 27	

平成31年3月末現在

※♥マークが付いている施設は、常時AEDが設置されています。

区分	No.	施設名	所在地	設置年度	競技面数	問い合わせ先	AED
野 球 場	1	大仙市総合公園野球場	内小友字明通58番地	平成17年	野球1面(硬式可) 野球屋内練習場2面	総合公園野球場 0187-86-4121	🔥
	2	太平健康広場	神宮寺字鶴ヶ沢出口50番地1	昭和58年	野球1面	神岡中央公民館 0187-72-2501	
	3	中川原グラウンド	神宮寺字吉貝人着137番地	昭和54年	野球2面	嶽ドーム 0187-72-2721	
	4	神岡野球場	北楢岡字向堀野2番地1	昭和63年	野球1面 (硬式可・ナイター可)	嶽ドーム 0187-72-2721	
	5	西仙北緑地運動広場	強首字上野台23番地1の内	昭和57年	野球1面	西仙北スポーツセンター 0187-75-0552	
	6	八乙女球場	長野字八乙女100番地4	平成16年	野球1面 (硬式可・ナイター可)	八乙女交流センター 0187-56-3870	🔥
	7	鶯野運動場	上鶯野字沼向1番地1	平成5年	野球1面	鶯野分館 0187-56-2322	
	8	サン・スポーツランド協和野球場	協和船岡字大袋2番地2	平成4年	野球1面 (硬式可・ナイター可)	サンスポーツランド協和(野) 018-892-3400	🔥
	9	南外運動場	南外字上野99番地1	昭和49年	野球1面	南外体育館 0187-73-1005	
	10	南外山村運動広場	南外字小出375番地外	昭和63年	野球1面	南外体育館 0187-73-1005	
	11	仙北球場	堀見内字元田茂木35番地外	昭和54年	野球1面(硬式可)	ふれあい体育館 0187-69-2115	🔥
	12	太田球場	太田町横沢字堤田350番地	昭和60年	野球1面 (硬式可・ナイター可)	太田体育館 0187-88-1350	🔥
	13	太田多目的グラウンド	太田町齊内字北開182番地1	平成6年	野球1面	太田公民館 0187-88-1119	
	14	鷹ノ巣地区運動場	松倉字鷹ノ巣190番地	昭和53年	野球1面	都市管理課 0187-66-4908	
	15	花館グラウンド運動公園	花館字中野下川原地内	昭和59年	野球1面	花館公民館 0187-62-3012	
	16	川港親水公園グラウンド	藤木字東八圭及び丙大久保地内	平成8年	野球1面	藤木公民館 0187-65-2823	
小計						16	
武 道 場	1	大曲武道館	大曲花園町1番1号	2020年予定	柔道2面・剣道2面(兼用)	大曲体育館 0187-63-1122	
	2	仙北武道館	堀見内字西福嶋185番地	昭和51年	剣道2面	仙北公民館 0187-69-3333	🔥
	3	仙北第二武道館	堀見内字西福嶋112番地	昭和56年	柔道1面	仙北公民館 0187-69-3333	🔥
	4	角間川剣道場	角間川町字四上町1番地	昭和55年	剣道1面	角間川公民館 0187-65-2545	
	5	神岡嶽雄館柔道場	神宮寺字下川原前開102番地	平成8年	柔道1面	神岡中央公民館 0187-72-2501	
	6	サン・スポーツランド協和体育館内格技場	協和船岡字大袋2番地2	平成18年	柔道1面	サンスポーツランド協和(体) 018-892-3088	
小計						6	
プ ール	1	大仙市民プール	大曲川原町2番62号	昭和50年	幼児プール1 一般プール1	大仙市民プール 0187-63-0666	🔥
	2	大仙市B&G海洋センター	神宮寺字中瀬古川敷210番地	平成元年	幼児プール1 一般プール1	神岡中央公民館 0187-72-2501	
	3	健康文化活動拠点センター「ベアーレ大仙」	大曲中通町9番24号	平成11年	一般プール1	ベアーレ大仙 0187-63-8600	🔥
小計						3	

平成31年3月末現在

※🔥マークが付いている施設は、常時AEDが設置されています。

区分	No.	施設名	所在地	設置年度	競技面数	問い合わせ先	AED
テニスコート	1	大仙市総合公園テニスコート	内小友字中沢頭地内	平成11年	コート12面 (オムニコート・ナイター可)	総合公園テニスコート 0187-68-4567	♥
	2	神岡テニスコート	神宮寺字大坪街道下21番地	平成3年	コート2面 (オムニコート・ナイター可)	嶽ドーム 0187-72-2721	
	3	神岡中央公園テニスコート	神宮寺字中瀬古川敷地内	平成19年	コート4面 (オムニコート・ナイター可)	嶽ドーム 0187-72-2721	
	4	西仙北スポーツセンター テニスコート	刈和野字小野17番地1	平成2年	コート2面 (オムニコート・ナイター可)	西仙北スポーツセンター 0187-75-0552	♥
	5	八乙女運動公園テニスコート	長野字八乙女100番地4	昭和63年	コート2面 (オムニコート・ナイター可)	八乙女交流センター 0187-56-3870	♥
	6	サン・スポーツランド協和 テニスコート	協和船岡字大袋2番地2	平成4年	コート2面 (オムニコート・ナイター可)	サン・スポーツランド協和(テ) 018-892-3088	
	7	南外テニスコート	南外字小出373番地1	平成4年	コート2面 (オムニコート・ナイター可)	南外体育館 0187-73-1005	
	8	仙北健康広場テニスコート	堀見内字田茂木48番地外	平成元年	コート3面(ナイター可)	ふれあい体育館 0187-69-2115	
	9	太田テニスコート	太田町横沢字堤田445番地2	平成13年	コート6面 (オムニコート・ナイター可)	太田体育館 0187-88-1350	
	10	桂公園	大曲田町318・319番	平成2年	コート1面	都市管理課 0187-66-4908	
	11	中央公園テニスコート	大曲川原町地内	昭和57年	コート4面(ナイター可)	都市管理課 0187-66-4908	
小計 11							
スキー場	1	大曲ファミリースキー場	内小友字中沢地内	平成3年	ベアリフト1基	大曲ファミリースキー場 0187-68-4000	♥
	2	協和スキー場	協和船岡字庄内前田表地内	昭和54年	ベアリフト2基	協和スキー場 018-893-2050	♥
	3	大台スキー場	太田町川口字大台地内	昭和56年	ベアリフト2基	大台スキー場 0187-89-1788	♥
小計 3							
サッカー場	1	「大曲の花火」公園	小貴高畑地内	昭和54年	サッカー5面	スポーツ振興課 0187-63-1111	
	2	花館グラウンド運動公園	花館字中野下川原地内	昭和59年	サッカー1面	花館公民館 0187-62-3012	
	3	中川原運動公園サッカー場	神宮寺字屋敷南37番地19外	平成16年	サッカー1面	嶽ドーム 0187-72-2721	
	4	神岡農村広場	北榑岡字向堀野2番地1	昭和55年	サッカー1面	嶽ドーム 0187-72-2721	
	5	太田町新興緑地広場	太田町太田字新田下野124番地1	平成13年	サッカー1面(ナイター可)	太田体育館 0187-88-1350	
	6	仙北健康広場運動広場	堀見内字元田茂木35番地1外	平成元年	サッカー1面	ふれあい体育館 0187-69-2115	
小計 6							

平成31年3月末現在

※♥マークが付いている施設は、常時AEDが設置されています。

区分	No.	施設名	所在地	設置年度	競技面数	問い合わせ先	AED
グラウンド・ゴルフ場	1	大仙市総合公園多目的広場	内小友字中沢地内	昭和54年	グラウンド・ゴルフ 2コース(16ホール) パークゴルフ 2コース(18ホール)	スポーツ振興課 0187-63-1111	
	2	「大曲の花火」公園多目的広場	小貴高畑地内	昭和54年	グラウンド・ゴルフ 4コース(32ホール)	スポーツ振興課 0187-63-1111	
	3	西仙北緑地運動広場 グラウンド・ゴルフ場	強首字上野台23番地1の内	平成21年	グラウンド・ゴルフ 4コース(32ホール)	西仙北スポーツセンター 0187-75-0552	
	4	秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場	太田町太田字惣行小坂47番地	平成2年	グラウンド・ゴルフ 12コース(96ホール)	太田奥羽グラウンド・ゴルフ場 0187-86-9116	🔥
	5	中川原運動公園グラウンド・ゴルフ場	神宮寺字屋敷南37番地19外	平成16年	グラウンド・ゴルフ 4コース(32ホール)	嶽ドーム 0187-72-2721	
	6	米ヶ森公園グラウンド・ゴルフ場	協和荒川字新田表地内	平成18年	グラウンド・ゴルフ 4コース(32ホール)	道の駅協和 018-881-6646	
	7	南外ふれあいパークふれあい広場	南外字梨木田62番地1外	平成14年	グラウンド・ゴルフ 4コース(32ホール)	南外体育館 0187-73-1005	
小計 7							
ゲートボール場	1	西仙北スポーツセンター ゲートボール場	刈和野字小野17番地1	平成2年	ゲートボール3面	西仙北スポーツセンター 0187-75-0552	
	2	サン・スポーツランド協和 ゲートボール場	協和船岡字大袋2番地2	平成4年	ゲートボール4面	サンスポーツランド協和(体) 018-892-3088	
	3	太田多目的運動広場	太田町横沢字堤田344番地1	平成2年	ゲートボール8面	太田体育館 0187-88-1350	
	4	仙北健康広場屋内ゲートボール場	堀見内字元田茂木61番地外	平成元年	ゲートボール1面	ふれあい体育館 0187-69-2115	
	5	仙北健康広場屋外ゲートボール場	堀見内字元田茂木44番地1外	平成元年	ゲートボール2面	ふれあい体育館 0187-69-2115	
小計 5							
ゴルフ場	1	大仙市民ゴルフ場	花館柳町1番1号	昭和59年	18ホール	(株)大曲スポーツセンター 0187-63-0252	🔥
小計 1							
キャンプ場	1	大曲ファミリーキャンプ場	大曲西根字仁応治65番地2	平成3年	共同炊事場・テントサイト他	総合公園テニスコート 0187-68-4567	🔥
	2	まほろば唐松「わんぱくの森」	協和境字岩淵44番地	平成4年	物見橋ハウス20棟他	わんぱくの森 018-892-2100	
小計 2							
屋内多目的運動場	1	多目的交流施設「樹バール」	協和船岡字大袋2番地2	平成14年	ゲートボール2面	樹バール 018-892-3530	🔥
	2	屋内多目的施設「嶽ドーム」	神宮寺字中瀬古川敷212番地	平成18年	テニス2面・フットサル2面	嶽ドーム 0187-72-2721	
	3	太田交流プラザ	太田町横沢字堤田487番地	平成10年	野球屋内練習場1面	太田体育館 0187-88-1350	
小計 3							
競技場(陸上)	1	花館グラウンド運動公園	花館字中野下川原地内	昭和59年	競技場1面	花館公民館 0187-62-3012	
小計 1							
合計 91							

平成31年3月末現在

※🔥マークが付いている施設は、常時AEDが設置されています。

第3次大仙市スポーツ推進計画

編 集	大仙市教育委員会	生涯学習部スポーツ振興課	
統括責任者		生涯学習部長	安達成年
担 当 者		生涯学習部次長兼スポーツ振興課長	伊藤優俊
		主 幹	鈴木貴博
		主 幹	高橋宏範
		主席主査	松井公未子
		主 任	高橋星子
		主 事	進藤尚人
		主 事	新田翼
			石山雄康
監 修	秋田大学教育文化学部	准教授	伊藤恵造

お問い合わせ先

大仙市教育委員会 生涯学習部スポーツ振興課

〒014-8601 秋田県大仙市大曲上栄町2番16号
電話 0187-63-1111(代表)

Daisen Sports Promotion Plan No.3

